

ふうちゃんのひとりごと II

あさの 風子

ひとり旅にでる 渋谷・京都 編

目 次

2015・08・19(水)	
ミッション	1
2015・08・22(土)	
限界	5
2015・08・28(金)	
また あるく	9
2015・09・09(水)	
渋谷に着く	12
2015・10・20(火)	
演歌を聴きに行く	22
2015・10・26(月)	

京都に行く I	28
2015・10・26(月)	
京都に行く II	35
2015・10・27(火)	
おとぎ話	48
2015・11・14(土)	
冬の足音	52
2015・12・8(火)	
年をとる	59
2015・12・19(土)	
おねがい	71
2015・11・27(金)	

7月の末に 不覚にも 足を 捻挫してしまいました。

もう3週間が過ぎるというのに まだ、足首は 腫れたままなんです。

動くと痛むので、しかたなく 毎日家にばかりいることになり、本当に元気をなくしてしまいました。

このままではいけない と、腫れもひきかけたので、ちょっと無理をして、倉敷イオンに「ミッション インポッシブル ローグ・ネイション」を観に行きました。

でもこれが、元気を取り戻す きっかけになりました。

イーサン・ハントもいいけど、今回は女性の諜報部員が、カッコいい！

クールで 理知的で、そして アクションが 綺麗なんです。

もちろん 美人だから そうなんでしょうけれど、バイクに乗った ヘルメット姿も またステキです。



トム・クルーズが少し年とった分、女性にちょっと 助けられる場面とかが増えて、なかなか味のある内容になっていました。

帰りは 気持ちが ハイになっていて、うっかり 足のけがを 忘れ

てしまうほど…



「不可能な 指令…」

そう言えば 人間だって 「指令」と言うか 「使命」というものを 背負っているんじゃないかと思います。

「指令」と違う点は、それが何かを 分からないで 一生を終える かもしれないってことでしょうか。

そういう、私も まだ、それをはっきりとは 掴めないで 生きているんですけれども…

けれど、最近では 思うのです

世の中の常識や 自分の欲望のみに左右されず、生きる方向を定

めた時 少しばかり その姿を 捉えることができるんじゃないだ
ろうかと…

そして、その行程に愛があるならば、もしかするとそれは 本物
に近いのかもしれない。

ひさしぶりに ほんとにひさしぶりに、早朝 散歩をしました。
散歩をしなくなる以前より、風は涼しく、心地よく感じられました。

空は、台風の影響なのか 曇り空でしたが、その透明さは相変わらずで、なんだか 故郷に戻ってきたような そんな 感覚に捉われて、思わず写真を何枚も撮ってしまいました。

けれど 足の方は今ひとつ 思うようには動かず、無事だった右足にかなり負担を



かけなければ 歩けない状況で、まだまだ 歩きを楽しめる状況には、立ち戻っていません。

数週間の中に、以前は咲いていなかった 野の花や、とんぼやチョウの姿、名前の知らない背の高い鳥が、物静かに留まっていて、何気ない風景なのにもかかわらず、目に鮮やかに 飛び込んで来ました。

このところ 少し体力も落ちてきて、歩かなければ… と思って、今朝は頑張ってみたのですが、本当のところ、果たして明日は

草むらきをひらひら飛んで

ちようちようが

あともう少しと去ってゆき

無事 歩けるかな？って 感じではあります。

ただ…

歩くということは、人間にとって生きて行く上で、基本的なものなんだということが、この数か月で実感できました。

歩いて1日が始まる生活は、きっと数千万年もの昔から 繰り返されてきた、人間にとって 命の源なのだろうと つくづく思います。生き方が前向きになる、考えに 勢いがつく、行動が 機敏になる、力強い動作ができる、などなど…

いいことづくめなんですからけれど、これも性格のせいで、雨の日も、風の日も、雪の日も 一日も欠かしたことがありませんでした。それが、筋肉の疲労を招いて、今回の怪我につながったように思います。

何をするにも 休養は必要ですが、年々、いえ 今では 季節ごとに変わる体調と体力の限界も、知らなければならぬということですよ。



長い 夏休みも終わったようで、中学生、高校生の自転車姿があちこちに見られるようになりました

あと2日ばかりで旅行に行くつもりなのですが、1ヶ月前に足を捻挫して以来、まだ、完全に治ってはいないので
たぶん、あちこち 歩かなければならないと思うので、練習のために 少しゆっくり朝の散歩を再開しました
正直なところ、まだ少し痛みを感じますが、日一日と良くはなっているようで、以前のコースをなんとか歩けました

この調子だと予定通り、東京に行けそうです

あとは天候しだいで、倉敷はどうも雨か曇りのようですが、東京は晴れ、曇りのマーク！

ま、こればかりはおてんとうさまに お任せですから、仕方ありません

今朝の空は、雲ばかりで 青空が見えませんでした。

残念!!

ま、そういう日も あります…ねえ



人ならば我慢をせねばならずとも

とんぼと為りて宙を飛ぶなり

登り坂

前を見ないで足もとを

ただただ見つめて歩をすすめ

夏の終わりに 東京へ旅に出ました。

今年は渋谷から、目黒にある「美空ひばり記念館」と、青山にある「岡本太郎記念館」が目的でした。

それぞれの記念館へは、渋谷駅からバスが出ています。

渋谷という町は、オシャレな若者がたくさんいました。

垢抜けているというんでしょうね。

駅で歩く人達の速さは、この辺とは比べ物になりません。

駅から道路に出ると霧雨が降っていたのですが、だれも傘をささないで、小脇に抱えて歩いていました。

きっと、行きかう人たちの迷惑にならないよう ぶつからないように気を付けているんでしょう。

そうすることが、習慣というか身につけている感じがしました。

渋谷駅西口のターミナルから目黒へ向かうバスでは 女性の運転手さんが曲がり角で指さし確認、おっとりした口調でアナウンスをしていて、とても丁寧でした。

ひとり旅では どうしたって、行く道を尋ねなくてはならないのですが、どこで聞いても、最後まで話を聞いて、ゆっくりと詳し

く教えてくれました。

東京の人たちという早口でそっけない印象を持っていたから、少し驚きました。

また、今回の旅行では、よくコンビニを利用しました。

なぜかって、どの道にもセブンイレブンやローソン、ファミリーマートなどのどれかがあって、重宝だからです。

費用を安くあげられる上に、道を尋ねることができ、コーナーにカウンターがあるところ



では、歩き通しの時間を1杯のコーヒーでひと息つくことができ

ます。それに、地図を見ながら、次の目的地への計画を立てやすいからでした。

「美空ひばり記念館」は、予約制なのですが、見知らぬご夫婦とご一緒になり、日本間で「ところてん」を頂いたり、愛車だったキャデラックの前で記念撮影をしたりして、楽しいひと時を過ごしました。

ひばりさんは、紫の色が好きだったそうで、リビングには紫のピアノが置かれ、カーペットもやや薄めの紫色でした。

お庭は、さほど広くはないけど、桜の木、藤棚、アジサイなど、四季折々の木や花が咲く緑豊かな庭園になっ



ていました。

晩年は、足が悪かったので、ガラス張りのリビングから、美しい庭と空の調和を 始終 眺められるように、設計されているようでした。

ひばり邸を見学した後 巡回バスで駅に戻り、次は東口から南青山の「岡本太郎記念館」へ行く予定だったのですが、うっかりバスを間違えて、全く違う方面に向かっていました。

10分ほど経ってから 自分の間違いに気が付き、途中で引返しました。車掌さんに確かめれば良かったのですが、乗場のNo. だけを見て、着いたばかりのバスに、飛び乗ってしまったのが間違い

の元でした。

とにかく、一旦、駅まで戻らなくてはなりません。というわけで、結局、「岡本太郎記念館」に着くまで、50分ばかりを無駄にしておりましたが、iPhoneを片手に何とか、目的地に着くことができました。

見学の後は、また、駅に帰り、ホテルの荷物を持って羽田に戻らなくてはならなかったのも、残念ながら、ここではゆっくり過ごすわけにはいきません。

でも、アトリエと絵や彫像やうっそうとした庭園などを一通り見てから、教室の生徒さんに気持ちばかりのお土産も買えました。

岡本太郎という人は、人間の生命を 木になぞらえて 表現しているんだそうです。

それで、あの「太陽の塔」のような形のものが出来たんですね。

帰りは 夜の飛行機にしていました。

だから、ゆっくり見て回れた方なんですけれども、それでも、お土産の買い物をしていると、すぐに時間は経ってしまいます。



う



羽田から岡山空港に着き、バスと電車で自宅に帰り着いたのは、もう夜の11時を過ぎていました。

あちらこちらと 見て回って、少し疲れましたが、それでもわたしは とても満足しました。

そして、この旅行から帰った後、実行しようと思ったことがいくつかありました。

まず、ひとつ目は

人と話す時は、相手の話を最後まで聞いて、丁寧に話すことにしよう、です。

そうすれば、相手の方も、自然と丁寧に話をするようになるから。

次に、歩く時は、スーパーの中でも、決してぶつからないように歩くようにしよう、です。

無駄な時間も、トラブルも、気分の悪さも防げるから。

3番目は、気持ちの良いオシャレや、お化粧をしよう、です。

いかにもオシャレしてますって感じではなく、さりげなくて品の良いオシャレは見る人を気持ち良くさせるものだから。

今回の旅行で、わたしは、また、様々な経験をし、今まで知らなかったことを学びました。

そして、これからも ずーっと そういう自分でありたいと思っています。



ふうちゃんのひとりごと II

著 者：あさの 風子

発効日：2016年1月3日

発 行：みつわばそこん教室

=お願い=

この製品の転載、転売 は禁止されています